

授業科目	福祉臨床心理演習Ⅱ				単位	2		
履修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE31407J		
開講年次	3年	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP2-2 DP3-2 DP5-2			
担当教員	野井 未加							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>福祉臨床心理学は、福祉と心理臨床の接点における臨床の知を扱う学問であり、1つは福祉のフィールドで仕事をする心理専門職の実践を研究対象とする。2つには福祉専門職の実践における臨床心理学的視点や技法の導入について研究するものである。さらに、福祉専門職、心理専門職、その他の専門職のコラボレーションについても検討対象である。本学の福祉臨床心理演習では、とくに福祉専門職が用いることができる臨床心理学的援助の知識と技法を学ぶことに重点を置いている。本演習では、保健所、小児科、教育機関における心理臨床経験のある実務家教員が授業を担当する。①児童領域における心理アセスメント(発達検査・知能検査を中心に)、②発達相談の実際、③子どもの心理療法について、実習やディスカッションを通して学習を深める。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各種発達検査や知能検査の土台となる理論を理解し、今後の学習に活かすことができる。 2. 検査実施のための技術の基本を身につけ、実践に活かすことができるように努力を始める。 3. 検査結果の取り扱いについて考えを深め、実習等で活かすことができるように努力を始める。 4. 子どもの心理療法の土台となる理論を理解し、今後の学習に活かすことができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	70	30	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			30				30	
思考・判断 (DP2-2)			10	10			20	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)			10	10			20	
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			20	10			30	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
各種発達検査や知能検査及び子どもの心理療法の土台となる理論について正確に説明することができる。検査実施や検査を取り扱うための意識や態度・姿勢を備えている。また自らの臨床実践に対する認識を深め、どのような臨床実践を行うことが必要なのか考え出すことができる。				各種発達検査や知能検査及び子どもの心理療法の土台となる理論について説明することができる。検査実施や検査を取り扱うための態度や姿勢を意識することができる。また、レポートやディスカッションでの発言から、そのポイントを自分なりに見つけ出し、今後の臨床実践の参考にすることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:児童領域における心理アセスメントの意義	講義	復習:該当部分の復習	30
2	テーマ:新版 K 式発達検査 2001 理論の解説及び実施方法について実習を通して学ぶ ①※	講義・実習・ディス カッション	予習:実習前に実施方法の手 引きを読んでおく 復習:実習後に実技の復習を しておく	60
3	テーマ:新版 K 式発達検査 2001 実施方法について実習を通して学ぶ②	実習・ディスカッショ ン	予習:実習前に実施方法の手 引きを読んでおく 復習:実習後に実技の復習を しておく	60
4	テーマ:新版 K 式発達検査 2001 実施方法について実習を通して学ぶ③	実習・ディスカッショ ン	予習:実習前に実施方法の手 引きを読んでおく 復習:実習後に実技の復習を しておく	60
5	テーマ:新版 K 式発達検査 2001 実施方法について実習を通して学ぶ④	実習・ディスカッショ ン	予習:実習前に実施方法の手 引きを読んでおく 復習:実習後に実技の復習を しておく	60
6	テーマ:WISC-IV 理論の解説及び実施方法について実習を通して学ぶ ①	講義・実習・ディス カッション	予習:実習前に実施方法の手 引きを読んでおく 復習:実習後に実技の復習を しておく	60
7	テーマ:WISC-IV 実施方法について実習を通して学ぶ②	実習・ディスカッショ ン	予習:実習前に実施方法の手 引きを読んでおく 復習:実習後に実技の復習を しておく	60
8	テーマ:WISC-IV 実施方法について実習を通して学ぶ③	実習・ディスカッショ ン	予習:実習前に実施方法の手 引きを読んでおく 復習:実習後に実技の復習を しておく	60
9	テーマ:WISC-IV 実施方法について実習を通して学ぶ④	実習・ディスカッショ ン	予習:実習前に実施方法の手 引きを読んでおく 復習:実習後に実技の復習を しておく	60
10	テーマ:田中ビネー式知能検査 V 理論の解説及び実施方法について実習を通して学ぶ ①	講義・実習・ディス カッション	予習:実習前に実施方法の手 引きを読んでおく 復習:実習後に実技の復習を しておく	60
11	テーマ:田中ビネー式知能検査 V 実施方法について実習を通して学ぶ②	実習・ディスカッショ ン	予習:実習前に実施方法の手 引きを読んでおく 復習:実習後に実技の復習を しておく	60
12	テーマ:田中ビネー式知能検査 V 実施方法について実習を通して学ぶ③	実習・ディスカッショ ン	予習:実習前に実施方法の手 引きを読んでおく 復習:実習後に実技の復習を しておく	60
13	テーマ:田中ビネー式知能検査 V 実施方法について実習を通して学ぶ④	実習・ディスカッショ ン	予習:実習前に実施方法の手 引きを読んでおく 復習:実習後に実技の復習を しておく	60
14	テーマ:発達相談の実際 発達相談の場面で、検査結果を説明する際の留意点 について解説する。	講義・ディスカッショ ン	復習:該当部分の復習	30

15	テーマ:子どもの心理療法とその特殊性 子どもの心理療法の理論について解説し、その特殊性について考える。	講義 ディスカッション	復習:該当部分の復習	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	発達心理学 1、臨床心理学 1、2 を受講していることが望ましい。			
テキスト	指定しない			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	下山晴彦・松澤広和編 『実践 心理アセスメント—職域別・発達段階別・問題別で分かる援助につながるアセスメント』 日本評論社 上里一郎監修 『心理アセスメントハンドブック』 西村書店 生澤雅夫・松下裕・中瀬惇編著 『新版 K 式発達検査 2001 実施手引書』 京都国際社会福祉センター 杉原一昭・杉原隆監修 『田中ビネー知能検査 V』 田研出版 David Wechsler 著 日本版 WISC-IV 刊行委員会訳編著 『日本版 WISC-IV 知能検査法』 日本文化科学社 川端隆他著 『発達相談と援助—新版 K 式発達検査を用い			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	※心理アセスメントの実習では、各自が検査者役・被検査者役になり、検査実施の技法や留意点について体験を通して学ぶ。 受講生には、主体的な実習・ディスカッションへの参加が求められる。			
達成度評価に関するコメント	心理検査の実施方法・レポートの内容については、授業の中で指示する。			

